

医師見習い体験学習

対象：3年次学生

期間：20〇〇年〇月〇日～20〇〇年〇月〇日

実習場所：地域診療所、研修病院、大学附属病院

ゴール：

自らを省察し、医療人として求められる**コミュニケーション技能、プロフェッショナリズム（規範遵守、自覚、利他、共感、患者に対するいたわり・敬意、責任感、守秘義務、プライバシー保持、生涯学習能力等）**を修得する。

医師見習い体験学習の学習アウトカム

医師見習い体験学習終了時、学生は

1. 患者、医療者を尊重できる。
2. コミュニケーションを通して医療者、患者と良好な関係を構築できる。
3. 指導医師の監督下で患者と面接し、利他的、共感的、誠実、正直に対応できる。患者の意志をくみ取り、問題点(身体的、心理的、社会的、経済的)を理解できる。
4. 患者、医療者に関する情報の守秘義務を果たすことができる。
5. 医師の業務、役割を述べることができる。
6. 医療チームのリーダーやメンバーとしての役割を理解できる。
7. 様々なキャリアの医師を見学し、自らのキャリアについて考察できる。
8. 学習内容、感想、考察をレポートにまとめ、発表できる
9. 医療現場での経験を通して自己評価（自己の長所、短所）、同僚評価（メンバーの長所、短所）を行える。
10. 自らの長所と弱点を明確化し、長所を伸ばし弱点を改善する計画を立てることができる。

医師見習い体験学習のスケジュール

対応するコンピテンス	方法	時間(日時)	教員	場所
1) ~10)	講義 (オリエンテーション、ワークショップ)	2コマ 20〇〇年〇月〇日 (I、II 時限)	教員	講義室
1) ~7)	実習 (見学、体験、手伝い)	10コマ 〇月〇日から〇月〇日 I ~V 時限	指導医 (チュータ)	病院(大学病院、地域病院、診療所)
1) ~10)	講義 (チーム学習オリエンテーション)、GW	2コマ 〇月〇日 (III、IV 時限)	教員	講義室等
8) ~10)	グループ・ワーク (GW)	2コマ 〇月〇日 (I、II 時限)	教員	講義室等
8) ~10)	発表会	2コマ 〇月〇日 (III、IV 時限)	教員	講義室

2つの大切なこと



リフレクション

個人として
グループワークを通じて

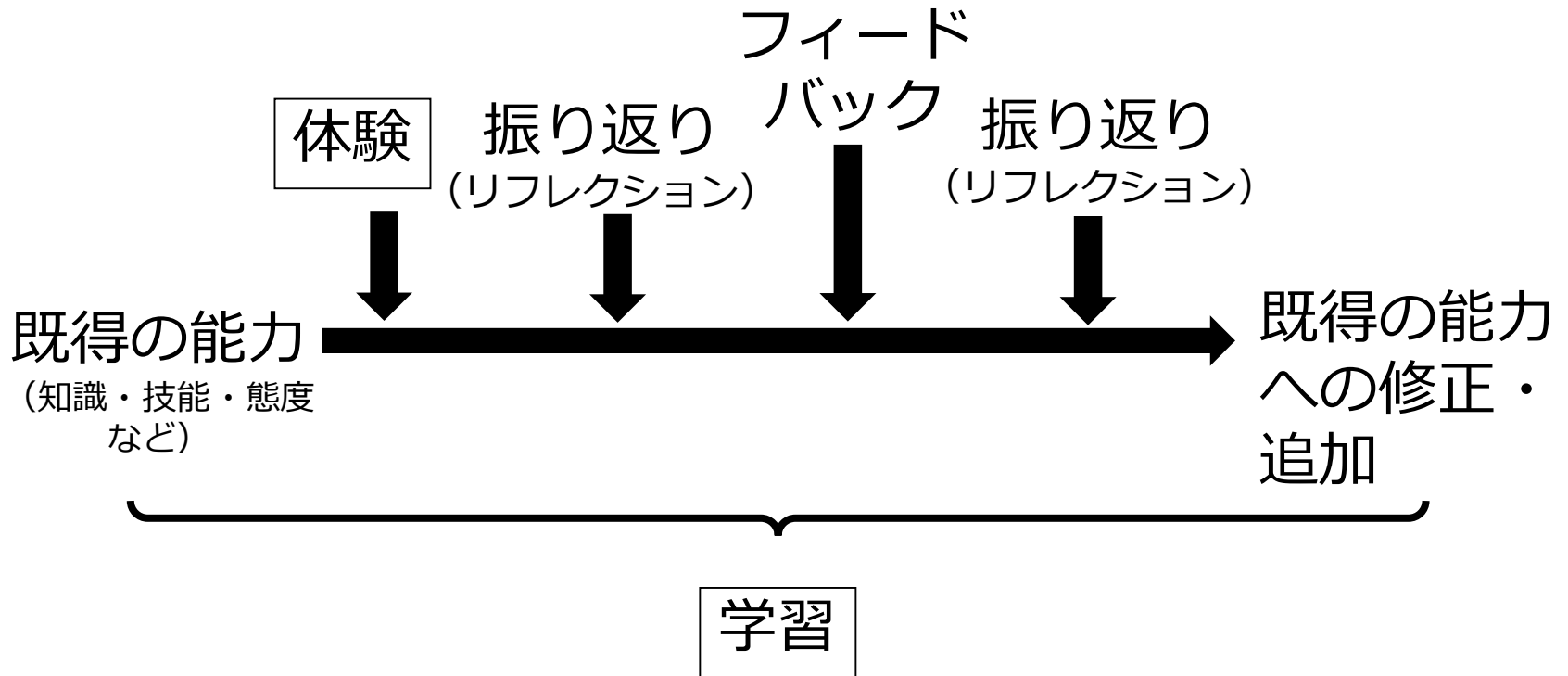


フィードバックを求める

同僚評価
指導医からの評価



体験と学習の関係



(高橋ら、体験学習の意義を理解する。：体験学習の展開。高橋平徳、内藤知佐子編集，医学書院，東京，2019，p.2-16.を改変)

WS : リフレクションとフィードバックの体験 についてのインタビュー

1. グループに分かれます。
2. 各グループ3名の学生は順番を決め、表の順番でインタビューを行ってください。

順番	学生 1	学生 2	学生 3
1	インタビュアー	インタビューを受ける人	オブザーバー・ タイムキーパー
2	オブザーバー・ タイムキーパー	インタビュアー	インタビューを受ける人
3	インタビューを受ける人	オブザーバー・ タイムキーパー	インタビュアー

インタビューについて

クラブ活動など
に変えても良い

- テーマ

IPE Step1とStep2で行った、リフレクションとフィードバックについて

- インタビューの内容（例）

- 今までの取り組み方

- 具体的に体験したことについて

- どのような効果があったか？

- どのような効果があると思うか？

- インタビューの時間：4分間/人、タイムキーパーが合図

- インタビュー終了後：

- ① インタビュアーは、自分の感想を言う。

- ② インタビュアーは相手の学生にフィードバックを求める。

- ③ オブザーバーがフィードバックを行う。

ワークショップのまとめ

- リフレクションとフィードバックの体験を振り返り、体験を学習に変換するプロセスを確認した。
- フィードバックでは、フィードバックを求めるアクションとフィードバックを受け止める態度のトレーニングが必要である。
- これらを習慣的に行うことは、学生のみならず医師になってからも自身の向上に役立つ。
- 指導医、患者に対するインタビューのマナーを確認した。

医師見習体験学習の実習について

医師見習い体験学習実習（病院、診療所）

事前準備

1. 学生(2名一組)は事前に相談し、指導医とメールまたは電話により実習の日時、場所、内容などの打ち合わせを行い、2日間の行動計画をたてる。○月○日まで。
2. 「行動計画書」に2日間の行動計画を記入し、○月○日17:00までに提出。

行動計画書（例）

学生氏名	指導医氏名（場所）	
日時	場所	事項
1/12 9:00	病院総合受付	指導医と会う
9:10	病院医局	1日の予定の確認、打ち合わせ
9:30	病棟	指導医の見学
12:00	病院食堂	昼食
13:30	検査室	指導医、看護師、検査技師の見学
15:00	病棟	患者との面談
15:30	病棟	指導医、看護師、看護助手、病棟クラークの見学
16:00	病院医局	指導医からフィードバック
16:30		病院を発つ
1/13 9:00	病院医局	1日の予定の確認、打ち合わせ
9:30	外来	指導医、看護師の見学
11:30	外来	患者との面談
12:00	病院食堂	昼食
13:30	病棟	患者との面談
14:00	病棟	指導医、看護師の見学
15:30	病院医局	指導医からフィードバック、まとめ
16:30		病院を発つ

医師見習い体験学習実習（診療所、病院）

実習当日(2日間)

1. 持ち物、服装、提出物等は学習ガイドをよく読むこと
2. 指導医に対するシャドウイング
 - ・朝から夕方までの行動（最低1日）をともにする
 - ・医師の**業務、役割**について情報を得る
 - ・指導医自身の**キャリア**に関する経験や考え方についての情報を得る
3. 患者との面接
 - ・指導医及び患者からの許可を得る
 - ・患者の有する問題点(身体的、心理的、社会的、経済的)についての情報を収集
 - ・患者面接記録に各自記入する（面接が出来なかった場合はその旨を記載）
 - ・患者との良好な関係を構築する
 - ・患者の有する**問題点の解決**に対して現在の自分にできることを考察する
4. 研修医、上級医、**コメディカル**の**患者診療**を見学し、医療者との良好な関係を考察する
5. 毎日、実習開始時、終了時に指導医と会い、その日の予定の確認と一日の経験を指導医に報告し、フィードバックを受ける
6. 実習を通じて今後のワークで自己学習するテーマを抽出する

医師見習体験実習での フィードバックについて

実習当日(2日間)の終了後、 学生が行うフィードバックとリフレクション

1. 学生は毎日の終了時、1日を振り返り自己評価、同僚評価を行い、「自己評価・同僚評価」に記入する。
同僚と一緒に行動していなくとも必ず終了時に会って、意見交換をして同僚評価、フィードバックを行う。
2. 学生は毎日の終了時、一日を振り返り「実習の振り返り」に記入し、「患者面接記録」、「自己評価・同僚評価」とともに実習当日の24時までに提出する。

同僚評価の目的

千葉大学の卒業時到達目標の一つである、「同僚、後輩に対する指導、助言ができる」を達成するための学習である。

教育される立場から、教育する立場への転換

これからの相手の役に立つような

相手のパフォーマンスに関する情報を伝えよう

実習指導医による評価とフィードバック

- 出欠席、遅刻
- 評価項目（自己評価、同僚評価も同じ）
 1. 医師の業務、役割を理解できた
 2. 医師となる医学生にふさわしいふるまい（言葉遣い、配慮、服装など）ができた
 3. コミュニケーションを通して医療者、患者と良好な関係を構築できた
 4. 患者とのコミュニケーションにより彼らの有する問題点(身体的、心理的、社会的、経済的)を抽出できた
 5. 患者の有する問題点の解決に対して現在の自分にできることを考察し、実行（医療行為は行わない）できた
 6. 患者に敬意の念を持って接し、利他的、共感的に対応できた
 7. 患者、メディカル・スタッフに関する情報の守秘義務を果たすことができた
 8. 患者、メディカル・スタッフのプライバシーに配慮できた
- 自由記載
医師としてふさわしい行為、医師としてふさわしくない行為

医師見習い体験学習（実習後のチーム学習）

グループ・ワークと発表会

	○月○日Ⅲ,Ⅳ	○月○日Ⅰ,Ⅱ	○月○日Ⅲ,Ⅳ
内容	オリエンテーション グループ・ワーク 「テーマ、学習課題」	グループ・ワーク 「自己学習成果の共有、 発表準備」	発表会 講義室
提出物	「5_グループ・ワークの 振り返り」	「5_グループ・ワークの振り返り」 発表用のパワーポイント・ ファイル (○月○日16:00)	最終レポート

グループ・ワーク（○/○ Ⅲ～Ⅳ、○/○ Ⅰ～Ⅱ）

グループ(8名/グループ)ごとにリーダーを決め、ミーティングを開いて実習の記録をもとに自身の体験を述べ、情報を共有する。討議の過程で明確になった学習項目（疑問点、わからない点、さらに深く調べたい点）を明確にして、**発表するテーマ**を設定する。

グループ全体でテーマについて個々に役割を決めて調査し、結果を共有する。

発表会（○/○ Ⅲ～Ⅳ）

プレゼンテーションはパワーポイントを使用し、**発表時間7分**で発表できるように準備する。その際、出典を明確に記載するように注意。

グループのリーダーは発表用のパワーポイント・ファイルをmoodle上の提出サイトへ**発表会前日16:00まで**に提出する（ファイル名は「学籍番号_提出日付4桁_gw」）。念のため、発表会当日にもUSBで持参する。